



令和3年度 市川中2年グランドデザイン



学年経営目標

中堅学年としての自覚を持ち、自己と集団の向上をめざして、目標に向かって主体的に行動できる生徒の育成

今年度の重点

確かな学力の育成

- ・生徒が主体的に授業に取り組めるように、グループ活動などを取り入れるなど、授業内容を工夫する。
- ・授業規律を確立させ、集中して授業に臨む態度が身に付くよう指導する。
- ・自主学習の計画や振り返りを行い、家庭学習の内容の充実を図る。
- ・テストの取り組み表を活用し、学習のPDCAサイクルを自身の学びに生かすよう指導する。
- ・放課後の学習会などを活用し、個に応じた指導を行う。
- ・進路への意識を高め、目標を明確にして学習するよう指導する。

豊かな心の育成

- ・道徳の授業などを通して、お互いの人権を守り、いじめを絶対に許さないという集団の雰囲気を作る。
- ・行事などで多様な活躍の場を作り、お互いの良いところや頑張りを認め合えるような場面を大切にする。
- ・生徒1人1人との会話やスマイルライフなどを通して、生徒の思いや考えを知り、適切なアドバイスをを行う。
- ・リーダーを中心に仲間と協力し、互いに働きかけながら、よりよい方向に進もうとする集団づくりに努める。

健康・安全の向上

- ・正しい情報モラルを身につけられるように、SNSの使い方をはじめとした情報モラル教育を行う。
- ・コロナ禍における新しい生活様式を定着できるように指導をする。
- ・安全で効率的な部活動を行い、部活動を通じて心身の健康の向上を図る。
- ・教師と生徒がともに清掃活動を行い、校内の環境美化に努める。

地域との連携

- ・学年通信や、学級通信を通じて、保護者への情報提供を積極的に行う。
- ・保護者との連絡を丁寧に行い共通認識を持って生徒の指導にあたる。
- ・PTA活動への積極的な参加をお願いする。

取組の具体と分掌

- ・パーティションを活用したり「MANAボード」を利用するなど、コロナ禍での授業に工夫して取り組み、対話的な授業を行う。(全員)
- ・授業後の評価を日直が確認し、帰りの会などでの振り返りの活動に生かす。(担任)
- ・「IMPシート」を活用し、自主学習の内容や取り組みについて振り返りができるように指導する。(吉村)
- ・各自の取り組み方法に合わせた定期テストの取り組み表を活用して学びのPDCAサイクルを身につけられるように指導する。(吉村)
- ・放課後学習会では、質問の場所を設定し、個に応じた指導を行う。(全員)
- ・進路学習では総合的な学習の中で高校についての調べ学習を行い、進路の目標が明確になるように指導する。(村松)

- ・道徳の授業を学年職員全員で担当し、人権や、いじめを許さない心について学年全体で考えていく。(全員)

- ・行事に向けて見通しを持った取り組みを行い、リーダーを中心として組織的な活動を仕組む。(佐野)

- ・行事後にはお互いの良いところを認め合い感謝の気持ちをもてるような振り返りの活動を行う。(担任)

- ・定期的な二者面談やスマイルライフを通じて1人1人の生徒と対話を行うことで生徒理解を深めていく。(担任)

- ・道徳の授業を活用し、養護教諭のアドバイスのもと情報モラルについて学び、適切な使い方について考える。(全員)

- ・部活動の学年代表者を組織し意欲的に参加することができるように指導する。(吉村)

- ・生徒会の重点活動でもある清掃活動に師弟同行で取り組み、自分たちが生活する環境美化に努める。(永田)

- ・学年通信を週に1回発行し、次週の予定や学校の様子などを保護者にお知らせする。また、PTA活動への積極的な参加をお願いする。(村松)

- ・必要に応じて電話連絡や家庭訪問などを行い、保護者と共通認識を持って指導にあたるようにする。(担任)